

1. 担当 PM

岡 瑞起（筑波大学 システム情報系 准教授）

2. クリエータ氏名

石井 峻（マイクロソフト コーポレーション カスタマーサクセス事業本部・カスタマーエンジニア）

3. 委託金支払額

1,368,000 円

4. テーマ名

切磋琢磨を促すリモートフィットネスアプリケーションの開発

5. 関連 Web サイト

- Runder (Google Play) :
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.shundroid.runder>
- Runder: Co-running (App Store) :
<https://apps.apple.com/app/runder-co-running/id1605128546>

6. テーマ概要

本プロジェクトは、リモートフィットネスアプリケーション「Runder」を開発し、健康維持や体力強化に効果的な運動をより多くの人々に提供することを目的としている。アプリケーションは、ウェアラブルデバイスを使用して遠隔地にいる人同士が切磋琢磨しながら運動することを促進するもので、リアルタイムで運動中の情報を共有し、お互いの状況を確認しながら同じ目標に向かって運動を行うことができる。また、運動者の体力レベルを考慮したマッチング機能も開発されている。結果として、使いやすく効率的な運動支援アプリである Runder が実現した。

7. 採択理由

「だれかと一緒に運動したい！」という潜在的に多くのユーザが抱えているニーズに応えるために、遠隔地にいる人同士でも切磋琢磨しながら運動すること

を促すスマートウォッチアプリケーションを開発することを目指した提案である。

フィットネスアプリケーションは多数存在するが、プロジェクトへの熱意と、提案者自身のスポーツに関するこれまでの経験と知見を活かし、未踏性を上手く設計することで、魅力的なプロダクトにつながることへの期待を込めて採択とした。

8. 開発目標

本プロジェクトの開発目標は、遠隔地にいる人同士が切磋琢磨しながら運動することを促進するためのリモートフィットネスアプリケーション「Runder」を開発することである。具体的には、モバイルデバイスを使用した運動状態をリアルタイム認識や情報提示、さらに、運動前のスケジュールや第三者による応援機能などの拡張を通じて、運動の課題を総合的に解消することが目指された。また、競争だけでなく協力して運動できる機能の実装や、切磋琢磨を促すための情報提示手法の確立が目標として掲げられた。

9. 進捗概要

Runderの開発は、健康維持や体力効果に効果的な運動をより多くの人に提供することを目的に、アイデア出しやコンセプト設計から始まり、ユーザビリティテストやヒアリング調査などを経て、スマートフォンアプリケーションとして実装された。具体的には、モバイルデバイスを使用して運動状態を認識するためのアルゴリズム、遠隔地にいる人に対しリアルタイムで情報提示を行うための通信技術、運動前のスケジュールや第三者による応援機能等の拡張、スマートウォッチアプリとして開発するための検討、ユーザビリティテストやヒアリング調査などの開発が行われた。

10. プロジェクト評価

本プロジェクトは、健康維持や体力強化に関心がある人々にとって有益であり、特にリモートワークが増えた現代社会においては、仕事仲間とリアルタイムで一緒に運動することができるという利点がある。また、企業向けにも活用されることが想定されており、従業員の健康とコミュニケーションの活性化に貢献することができる。また、開発にあたって、ユーザビリティテストやヒアリング調査などが実施され、既存の課題に対処するために様々な機能の開発・拡張が行われた。さらに、組織内や組織同士で競争・協力するような仕組みを実装することで、健康経営を目指す企業にも利用されることが期待できる。

11. 今後の課題

今後の課題としては、企業にも利用してもらうために、3人以上での競争や協

力、チュートリアルの充実、ランニング用のスマートウォッチアプリケーションの作成、組織での利用に適した拡張機能の実装などが必要となる。これらの課題を解決することで、Runder はより多くのユーザに利用され、健康的な運動をサポートするアプリケーションとしてさらに進化していくことが期待される。